

動物チャンネル/アニマルプラネット教育指導要領連動 番組リスト

指導要綱に合わせた対象(案)	エピソード名	番組説明文
小3 生命 昆虫と植物	パプアニューギニアの昆虫記(二)	今回ルードが向かったのは、オーストラリア北方の赤道付近に位置するパプアニューギニア。ここで巨大な虫を探すのだ。ルードが紹介してくれるのは、巨大なクモや、植物の小枝に外見がよく似ている昆虫ナナフシ、それにカブトムシ、色々な種類のチョウなどだ。なかでも、世界最大のチョウ「クイーンアレキサンドラバタフライ」は必見だ。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	オーストラリアの昆虫記(二)	オーストラリアは、危険なサメや毒を持ったヘビがいることで有名だ。他にも、刺したり噛みつきたりする生き物がたくさんいる。そんな生き物に対面するため、ルードは出発する。その結果分かったことは、かわいらしくて害のないものもいれば、人間を完全に食べてしまうものまでいるということだ。なかには、お尻に激痛を与える針を持っているものもある。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	アメリカの昆虫記(二)	今回ルードが向かったのは、アメリカの家々だ。そこは虫たちが支配しているらしい。ムカデ、吸血性のサンバエ、ゴキブリなど、家の中や庭に住むこれらの虫たちと、あなたは共存できるだろうか？ 虫たちの多くは、特に人間に害はなく、構わずに平和に暮らしたいだけなのだが、なかには人間を刺したり噛んだりするものもいるから厄介だ。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	★ハリウッドの昆虫記(二)	虫たちは、これまで長い間私たちを楽しませてきた。虫によるエンターテインメントで最も古いものといえば、ノミに芸をさせるノミのサーカスが挙げられるだろう。現在、虫たちによるエンターテインメントはハリウッドに場所を移した。ルードが、映画に登場する虫たちを紹介してくれる。また、ホテルとツチポタルによるライトショーも見物する。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	マダガスカル昆虫記(二)	アフリカ大陸南東沖に浮かぶマダガスカルは、約1億6500万年前に大陸から分離し、以降、孤立した島であり続けている。そのため、独自の動植物相がみられる。ルードがマダガスカルに行き、マダガスカル独特の巨大な虫や、気味の悪いクモ、生きた化石といわれる生き物、そして近年発見された珍しいアリなどを紹介してくれる。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	ナミビアの昆虫記(二)	南西アフリカにあるナミビア共和国。この国の砂漠は、世界一暑い。このような土地で、虫たちはどのように耐えているのだろうか？ 虫たちの環境適応能力を調べてナミビアに飛んだルードだが、自分自身がこの土地の気候に適応するのに精一杯だ。砂丘を上り、砂漠をさまよった挙げ句、ようやく虫たちの賢いサバイバル術が分かってくる。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	アラスカの昆虫記(二)	アメリカ合衆国最北端にあるアラスカ。アラスカの野性的で雄大な自然は、何百年にもわたって人々を魅了してきたが、この地で暮らす虫たちの生活は、ちよと急ぎ足だ。なぜなら、夏が6週間しかないからだ。この間に繁殖し、長く厳しい冬を乗り越えるために必要な食糧を食べ、蓄えておかなければならない。ルードがアラスカに暮らす虫たちを紹介する。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	★フロリダの湿地の昆虫記(二)	アメリカ合衆国ジョージア州とフロリダ州の州境にある広大な泥炭地、オーキフェノーキー湿地。ここには、捕食性の虫や爬虫類がたくさん暮らしている。今回ルードは、オーキフェノーキー湿地に分け入る。ここでは、虫が虫を食べ、魚を食べ、カエルも食べる。また、虫を食べる食虫植物もいる。自分の身を守ったり、攻撃したり、生き延びる術を発達させてきた虫たちを紹介する。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	ハワイの昆虫記(二)	北太平洋のほぼ中央に浮かぶハワイ諸島。いずれも火山島で、現在も活動中の火山もある。ここには、ハワイ特有の虫たちが暮らしている。今回ルードはハワイを旅し、この土地特有の毛虫、クモ、ハツタなどと遭遇する。また、ハワイ島の休火山マウナケアの山頂付近につくられた天文台にも登ってみる。そこでも奇妙な虫を発見する。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	ベネズエラの昆虫記(二)	南アメリカの最北部に位置する国ベネズエラ。熱帯雨林と山の間には、雲霧林が広がっている。蔓植物がからまりあうジャングルだ。ここで暮らすムカデやゴキブリ、タランチュラは、どれも巨大だ。虫たちの関係はというと、とても複雑で入りこんでいる。また、虫と他の動物や植物との関係も、ちょっと普通では考えられない構造になっているのだ。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	★アマゾンの昆虫記(二)	ブラジルのアマゾン川流域には、広大な熱帯雨林地域がある。そこを旅するのは簡単ではない。例えば天候が悪くなくても、虫たちが行く手を阻むからだ。アマゾンに暮らす虫たちは、マラリアやツツガムシ病、デング熱など、人間の命を奪う病気をはこぶことが多い。そのほかにも、住血吸血病などあまり知られていない病気を紹介する。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	虫の戦術(二)	攻撃は最大の防御だと言うが、そんなこと、虫たちは百も承知だ。彼らは、一対一で闘うときも集団で闘うときも、卑劣なまでに賢い戦法で攻めてくる。鎧、防御用の盾、化学兵器など、虫たちの巧妙な武器や戦術を紹介しよう。ミツバチやワスプ、巨大なタランチュラなども登場する。虫たちの武器について、ルードが体を張って解説してくれる。【ルードの吹替は「ちびまる子ちゃん」のおじいちゃん役でおなじみの青野 武さん】
小3 生命 昆虫と植物	★アリのすべて(字)	番組では、一流の昆虫学者のインタビューも交え、小さなアリの世界を美しい映像でご紹介する。大きな触覚を持つアリから針の先ほどの小さな種類まで、様々なアリの生態を追う。裸眼ではどのアリも同じように見える。実際には、狩猟性アリや収穫アリなど多様なアリが、それぞれの役割をこなしている。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:侵略の群れ(二)	4億年前の地球には、まだ陸上に生命体は存在していなかった。大地が苛酷な自然環境に晒される一方で、海の中は穏やかな環境に恵まれ、20億年前に生命が誕生。だが、生存競争が熾烈化していくにつれ、昆虫類、甲殻類、クモ類、ムカデ類などの節足動物は産卵のために地上を目指すことになる。満潮時に海岸を埋め尽くす数千匹のカブトガニ、強固な外骨格で水分を維持するヤスデなど、太古の時代から受け継がれたそれらの驚愕のメカニズムが明らかになる。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:ハネの進化(二)	川辺を飛び交う数百万ものモンカゲロウの群れ。口や胃を持たない彼らに与えられた飛翔時間は、僅か30分程しかない。死に至るまでの短い間、彼らは子孫を残すために悲壮な覚悟で空中を彷徨う。また、太古の時代から空の狩人として君臨してきたトンボは、4枚のハネを自在に操り、時速60キロを超える驚愕の飛行術で獲物を捕食する。数百キロの旅をするチョウや、滝に打たれて求愛するイトトンボをはじめ、空を舞う昆虫たちの生態に密着する。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:織りの達人(二)	洞窟の中に生息するヒカリキノコバエの幼虫は、イルミネーションのように体を青く発光させて獲物を誘惑。絹糸で出来たカーテン状の罿を利用して獲物を捕食する。熱帯雨林に暮らすシロアリモドキは、前足から放出した絹糸で木の幹にシートを製作。このシートの下に隠れながら雨露や外敵の攻撃から身を守って生活する。このような無脊椎動物特有の驚くべき素材「絹糸」を巧妙に利用する様々な昆虫たちの知られざる実態が明らかになる。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:共生の物語(二)	アブラムシを捕食するテントウムシは、アブラムシにとって最も危険な存在だ。だが、そんなアブラムシにもアリという心強い味方がある。アリはアブラムシが分泌する甘い蜜を摂取する代償として、テントウムシを排除するのだ。また、ペルーには「悪魔の庭」と呼ばれる2種類の樹木しか繁殖しないジャングルがある。それは、その木に寄生するアリが邪魔な害虫を排除し、他種の木の芽を摘んでいるという驚くべき共生関係に起因しているのだ。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:秩序の構築(二)	巨大なコロニーを形成する社会性昆虫。マルハナバチの女王は、新しいコロニーの形成に取りかかるとメスの子供を産み、自分の代わりに巣を建造させる。女王蜂は特殊な化学物質を分泌し、娘たちの性欲を抑制しながら秩序を構築する。だが、次の女王を生み出す時期は無政府状態となり、娘たちの反乱が勃発。女王蜂は殺害され、コロニーは終焉を迎える。そして、次世代の女王は、新たなコロニーを形成するために巣を去っていくのだ。
小3 生命 昆虫と植物	昆虫の世界:秩序の構築(二)	巨大なコロニーを形成する社会性昆虫。マルハナバチの女王は、新しいコロニーの形成に取りかかるとメスの子供を産み、自分の代わりに巣を建造させる。女王蜂は特殊な化学物質を分泌し、娘たちの性欲を抑制しながら秩序を構築する。だが、次の女王を生み出す時期は無政府状態となり、娘たちの反乱が勃発。女王蜂は殺害され、コロニーは終焉を迎える。そして、次世代の女王は、新たなコロニーを形成するために巣を去っていくのだ。
小5 生命 動物の誕生	生命の誕生:海からの出発(二)	人間の祖先をたどっていくと、海にたどり着く。生き物はここから出発し、進化を遂げたのだ。地球上最大の生物と言われるシロナガスクジラや、有頭脊椎動物のなかでは最も原始的なメクラウナギ、ホホジロザメの12倍の大きさを持つ巨大なサメ「メガドン」、口先に釣り竿のような誘引突起があり、疑似餌が付着しているイザリウオ、水中生活に高度に適応し、姿が魚そっくりになった哺乳類であるイルカなどにスポットを当てる。
小5 生命 動物の誕生	生命の誕生:陸上へ(二)	生命の誕生このエピソードでは、海のなかの生物たちが乾燥した陸へと生息場所を広げ、人間へと進化していった過程に迫る。陸に上がった最初の生き物は、節足動物だった。陸生のカニ「オカガニ」や、5億年前、大きなワラジムシのような生き物によってつけられた足跡、背面が赤色のイチゴヤドクガエル、イグアナ、オオミミギツネなどにスポットを当てる。
小5 生命 動物の誕生	生命の誕生:空へ(二)	生き物はどのようにして飛ぶようになったのか。進化の段階は4つあるらしい。いずれも偶然から生まれた産物だという。最初の羽は、空を飛ぶためではなく、海を泳ぐために進化したと考えられる。このエピソードでは、カワゲラ、トンボ、昆虫以外で初めて空を飛んだ動物「翼竜」、ハチドリ、オオハクチョウなどにスポットを当てる。
小5 生命 動物の誕生	生命の誕生:自然淘汰(二)	このエピソードでは、生き物同士の関係がどのように進化し、多様なものになっていったかに迫る。捕食動物は進化の過程に欠かせない存在だ。弱いのが淘汰され、強いものだけが残ることで、各世代の最も強いものが生き残り繁殖することになるからだ。食われるものも必死で生き延びる技術を身につける。他にも、ウイルスとの戦い、生殖にまつわる行動などにスポットを当てる。
小5 生命 動物の誕生	生命の誕生:人間への進化(二)	人間のDNAの98パーセントは、チンパンジーと同じだと言う。では、人間の祖先とチンパンジーが分岐したのはいつ頃で、どのように違いが顕著になっていったのだろうか。人間は今も進化を続け、新たな種が生まれようとしているのだろうか。
小6 生命 生物と環境	★BBC特集/ほ乳類:勝者のデザイン(新)(日)	オーストラリアには、ほ乳類の時代が始まった頃地球に登場した動物の子孫であるハリモグラやカモノハシなど、原始的なほ乳類が今も棲息しています。第1巻では、有袋類の知られざる生態に迫り、ほ乳類が長い進化レースの勝者となった、その勝因を探ります。子育てをするカモノハシの様子や、水中に生きる唯一の有袋類ミズオポッサムの姿は、初めて撮影に成功した非常に貴重な映像。必見です。
小6 生命 生物と環境	★BBC特集/ほ乳類:昆虫ハンター(新)(日)	1億年前、地球では恐竜が寝静まったあと、小さなほ乳類たちは活動していました。そのため、寒い夜でも活発に動ける必要があったのです。6500万年前、ほ乳類に転機が訪れます。恐竜の絶滅。それは、ほ乳類にとって、新しい環境に進出するチャンスでした。ほ乳類は古くから昆虫を食べていましたが、彼らは体をたくみに変化させ、昆虫を追い求めて、水の中へ、地下へ、さらには空へと進出しました。第2巻では、昆虫を食べるほ乳類の進化の過程やその生態をご紹介します。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:植物との闘い(日)	多くのほ乳類は植物に頼って生きています。そして、植物は動物から身を守るために、消化を悪くさせたり、とげや毒を持ちます。しかし、ほ乳類も負けてはいません。様々な工夫をこらして植物を食糧としています。致死量を超えないようにするため、数種類の葉を少量ずつ食べるバクや、冬を越すために、天然の保存料として毒をもつ植物を利用するナキウサギなど、知恵を使って生きるほ乳類たちをご紹介します。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:鋭い歯を武器に(日)	のみのような鋭い前歯を持つ、げっ歯類。彼らはその歯を武器に、地球上のいたるところで繁栄しました。ビーバーは、ダムを作り、巣もその中に作ります。水の底という優れた貯蔵庫と暖かい巣のため、彼らは冬眠をせず、冬でも食糧に困ることはありません。他に、ほ乳類で唯一アリのミツバチと似た社会システムを持つハダカデバネズミや、驚異的な繁殖能力を持つカヤネズミなど、優れた環境適応能力によって、ほ乳類最大のグループとなった、げっ歯類の世界に迫ります。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:狩りの名手たち(日)	肉食動物と、その餌食となる動物たちは、スピードや持久力、そして互いの裏をかく駆け引きという能力を発展させなければなりません。そして群れをなす動物は、グループ内での秩序や自分の地位を維持しなくてはならないのです。リカオンやタイリクオオカミといった社会性を持つイヌ科の肉食動物と、ライオンやチーター、ヒョウなど、非常に優れた運動能力を持つネコ科の肉食動物の、それぞれ知恵にあふれたハンターとしての姿をご覧ください。

小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:雑食でサバイバル(日)	ジャイアントパンダは、他の動物の食べない笹や竹を食糧とすることで繁栄しました。しかし、今日ではそれが原因で絶滅の危機に瀕しています。これに対し、好奇心が旺盛で、人間の視覚に匹敵するほど敏感な前足を持つアライグマは、食糧を選びません。これら雑食性のほ乳類は、多様な食生活に対応できるため、幅広い環境に適応し、たくましくたたかっています。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:水中を住みか(日)	地球表面上の3分の2以上を占めている海、そこはまた食べものの宝庫でもあります。ラッコの祖先は陸上に棲み、4本の足で駆ける肉食動物でした。エサを求めて水の中に入った彼らの後足はヒレ型になり、尾は平べったく、より機敏でしなやかな泳ぎができるようになりました。密度の高い毛は、隙間に空気を含むことができ、保温効果があります。他にも、完璧な流線型の体を持ち、水中でもすばらしいスピードを誇る、アシカにイルカにクジラたち。彼らは海に生きる新しいハンターとなったのです。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:木の上のアスリート(日)	木の上には食べものや飲みものが豊富にあります。木の実や鳥の巣のほかにも、葉のつけ根に水が溜まっていたり、カエルや幼虫などの栄養源も得られます。そのため、木の上を住みかとするほ乳類は数多くいます。彼らは、木の枝につかまることができるしっぽや、驚異的な跳躍力を持つことで生き残りました。そして、暗い森の中で生きるための鋭い感覚を持っています。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:群れのルール(日)	日々騒がしいサルの世界。サルは人間に最も近く、優れた頭脳を持っています。また、群れをなして生き、社会性格を営むサルにとって、少しでも高い地位を手に入れることは重大な意味を持ちます。木の上に留まることを選んだサルと、地上に降りて大きな群れをつくったサルの違いとは？複雑な社会や、幅広いコミュニケーションをもつサルの世界にスポットをあて、高い知能をもつに至った秘密にも迫ります。
小6 生命 生物と環境	★ほ乳類:サルからヒトへ(日)	たったひとりの類人猿が直立して歩くようになった、その時、自然界は変化しました。類人猿とは我々ヒト。しかし、ヒトはなぜ、このことによって、高度な知能をもつまでに進化することができたのでしょうか？最終巻では、オランウータンやチンパンジーなど高度なコミュニケーションに支えられた文化を持つ類人猿の社会に迫る他、ほ乳類の中で最大の成功を収めた我々ヒトと自然の関わりについて考えます。
小6 生命 生物と環境	★メコン川の恵み ベトナム(二)	ベトナムの160キロ沖、南シナ海に浮かぶコンダオ群島。この島のまわりにはイルカ、ウミガメ、ジュゴンが生息している。パークレンジャーのホアは、アオウミガメの産卵シーズンになると毎晩、ビーチをパトロールする。この度、ベトナムで初めてアオウミガメのメスに衛星追跡装置が取り付けられた。国立公園を管理するオアンはベトナム戦争時、数年間この島に監禁されていた。その後解放されたが、彼はこの島に残ることを決めた。
小6 生命 生物と環境	★メコン川の恵み カンボジア(二)	かつて、クメール・ルージュの大虐殺の地となったカンボジア。今では平和を取り戻し、自然が豊富なこの地を旅してみる。メコン川と共にカンボジアの二大水系である東南アジア最大の湖・トンレサップは、その周辺に住む人々、たくさんの動植物の生きる源である。そこで、絶滅が危惧されるシャムワニを保護する家族や湖の生き物たちを紹介するガイドらと出会う。メコン川に浮かぶ島には、4000匹のオオコウモリと暮す僧侶がいた。
小6 生命 生物と環境	メコン川の恵み ラオスとタイ(二)	東南アジア最長の河川・メコン川は、ラオスとタイの国境を南流する。ラオスに取ってメコン川は、重要な交通路であるとともに、大切な食糧源でもあるのだ。ルアンプラバンにある仏教寺院にはめ込まれたタイルは、メコン川の豊かな歴史を物語っている。ラオスには伝説も多く、その一つが川に潜む巨大ヘビの話だ。世界最大の淡水魚である巨大ナマズも、メコン川に生息しているという。
小6 生命 生物と環境	★メコン川の恵み 中国(二)	中国からは、長江、黄河、メコン川というアジアを代表する河川が流れ出ている。メコン川は、源流からほぼ南東に流れ、雲南省を南流する。中国に生息する全ての動植物の半分以上の種が、ここを起源とすると言われている。金色の美しい毛をもつキンシコウというサルを探して、雲南省の森林に覆われた山々に分け入ってみよう。メコン川の更に上流は、下流と全く違った生態系を見ることが出来る。
小6 生命 生物と環境	ブルー:プラネットいのちの物語(二)	海の王者シロナガスクジラは、現存する地球最大の生物である。しかし、その生態は、よく知られていない。海も同様、地球の大部分を占めているにもかかわらず、海については、未知の部分が多い。海は、巨大なクジラから極小のプランクトンまで、様々な種類の生き物の生命を支えている。この「いのちの物語」では、海の絶大なスケールとパワー、そして複雑性に迫る。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	ブルー:プラネット 深海探検(二)	太陽の光がほとんど届かない深海、永遠の闇が広がる。海全体の90%を占める水深200m以深の世界。深海という過酷な環境の中、生き延びている生物がいる。深海で生きていくために、自ら独特の進化を遂げてきた。光を発して獲物をおびき寄せもの。透き通った体を持ち、捕食者から身を隠すもの。奇想天外な生物の宝庫。この「深海探検」では、深く暗い海底に静かに生きる生物に迫る。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット 外洋のハンターたち(二)	陸地から数千キロも離れた、見渡す限りの大海原。太陽は容赦なく照りつける外洋には栄養分が枯渇する、地球上で最も不毛とされ「海の砂漠」と称される。何も無い。こんな場所に、一体どんな生き物が生息しているのか。サメ、マンボウ、アカウミガメ、イワシ、ブリ…様々な大海原の住人たちは、熾烈な生き残りの闘いを続けている。この「外洋のハンターたち」では、海の砂漠を生き抜く動物たちにスポットを当てる。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット 氷の海のサバイバル(二)	北極と南極、常に氷に覆われた過酷な環境。氷点下70度も記録するほどの極寒の地にも、強く生きる動物たちがいる。氷の世界で生きるアザラシやペンギンたち。過酷な環境の中、安全な場所に棲み、新しい命を育む。彼らの闘いは、寒さだけではない。氷の王者ホッキョクグマが、彼らを狙っているのだ。「氷の海のサバイバル」では、極寒との闘いと生き残りの闘いを続ける氷の海の住人たちに迫る。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット:海の中の四季(二)	温帯の海、太陽の光が青波にキラキラと広がり、四季の変化に富む豊かな海、たくさんの生命が息づいている。そこには、食物連鎖の環の最初を担う膨大な数の植物プランクトンや海の森と呼ばれるジャイアントケルプなど海藻類が豊かな海を形成する。そこに暮らす生き物の栄養になり、隠れ家になるのだ。この「海の中の四季」では、海での季節の移り変わりと海の森で営まれるラッコや小魚、イカなどの姿を追った。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット:サンゴ礁に生きる(二)	暖かくきれいな熱帯の海に形成される色鮮やかなサンゴ礁は、海の熱帯雨林とも呼ばれる。サンゴ礁は、カラフルな魚、エビ、イソギンチャクなどの海洋生物の生きる場所となり、豊かな生態系を提供している。この「サンゴ礁に生きる」では、サンゴ礁という複雑な海中社会にスポットを当て、サンゴ礁が形成され、破壊されるまでのドラマティックな過程をカメラで追う。サンゴ礁世界の奥深さを実感するだろう。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット:潮流のドラマ(二)	満潮と干潮。月の力がもたらす潮の満ち干は、海洋生物に大きな影響を与えている。汐の干満のある湿地帯「潮汐湿地」は、陸地と海洋の2つの生態系が会うため、地球上最も豊かな土地の一つであると言ってもよい。数々の植物が、そこに生きる動物たちを支えている。しかし動物たちの弱肉強食の争いも、上げ潮による波がおし寄せてきたら一時おあずけ。この「潮流のドラマ」では、潮の満ち干にスポットを当てる。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット:海と陸の狭間で(二)	海岸線、そこは陸と海との境目、生命の営みが繰り返されるエキサイティングな場所だ。ウミイグアナは、海と陸の両方で生きる術を覚えた。オオワシは崖壁のカモメの巣から幼鳥を盗み、カメは砂浜に卵を産む。アシカは岩場で子を産み育てる。一方、シャチは荒波を利用し、幼アシカを素早く捕まえ、海へ戻る。この「海と陸の狭間で」では、海岸線で繰り広げられる生と死の劇的なドラマをお送りする。声:市毛良枝[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★ブルー:プラネット 撮影秘話(二)	ブルー:プラネットの撮影の舞台裏をご覧ください。海洋学の専門家から助言をもとに、クルーたちが、成功と失敗を繰り返しながら、どのようにシリーズを完成させたのか。彼らが足を運んだのは、氷の海から南極・北極、深海、どこまでも広がる外洋…世界各地約200ヶ所、そして7000時間もの映像が記録した。強靱な忍耐と、史上初の映像を求める情熱が、クルーから感じ取ることができるだろう。動物たちのボーナス映像もお楽しみに。[二カ国]
小6 生命 生物と環境	★BBC特集/ブルー:プラネット:この海を守るために(宇)	今回は、人間が海の生態系に与えてきた影響を考える。自然のままのサンゴ礁がある一方で、ダイナマイトで破壊されたサンゴ礁や、高い海水温のせいで脱色白化したサンゴ礁が多く見られる。色鮮やかな魚が安価で店先に並べられている。一杯のフカヒレスープの裏側には、切り刻まれたサメの存在が…。海洋学者の第一人者シルビア・アール博士が世界中の海の状態を検証し、解決法を探る。我々が今できることは何なのか。
小6 生命 生物と環境	★世界の大河・ガンジス:ヒマラヤ山脈(新)(二)	インドを流れる世界有数の大河、ガンジス。流域の生態系と文化を美しい映像で紹介する／雪と氷のヒマラヤ山頂から緑豊かな山麓へ、生命の源流ガンジスに迫る。旅の始まりはガンジスが源を発するヒマラヤ山脈。山岳帯にはユキヒョウやクマ、大型猛きんのヒゲワシが生息し、色とりどりの高山植物の花が咲き乱れる。一方、山麓にはゾウ、トラ、カワウソ、クジャが姿を見せ、川には世界最大のコイが泳ぐ。(全3話)
小6 生命 生物と環境	★世界の大河・ガンジス:文明と生き物たち(新)(二)	インドを流れる世界有数の大河、ガンジス。流域の生態系と文化を美しい映像で紹介する／平原部の流域の町を訪ね、ガンジス川と文明、生態系との関係を探る。かつては野生動物の宝庫だったインド中央の平原部。ムガル帝国時代の宮殿や大規模なかんがい施設が今も残る。5千万人の巡礼者が集うアラハバードなど聖地が点在し、世界人口の10分の1が暮らす人口過密地帯にも、野生動物は生きている。(全3話)
小6 生命 生物と環境	★世界の大河・ガンジス:ベンガルトラの楽園(新)(二)	インドを流れる世界有数の大河、ガンジス。流域の生態系と文化を美しい映像で紹介する／ガンジス川がブラマプトラ川と交わるデルタ地帯の自然に迫る。2つの大河が合流し、世界最大のデルタ地帯を形成するガンジス川下流域。湿地帯にはさまざまな爬虫類が生息し、森にはシカやサルが群をなす。地上最後のベンガルトラの楽園でもある。過酷な気象条件の中、懸命に生きる人々と野生動物の姿を追う。(全3話)
中3 生命 生物と環境	地球のセレンアデ/カナダのサーモン(二)	ヴァネッサとトリスタンは、太平洋のサーモンを追跡中だ。海から、産卵場所であるカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州の川まで、サーモンを追いかける。シャチ、ツキノワグマ、灰色グマ、白頭ワシ、アシカなどの攻撃をかわしつつ、旅を続けるサーモン。産卵場所の付近には、珍しいウマが生息しているという。ヴァネッサとトリスタンは、このウマを一目見てみたいと思うのだ。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレンアデ/コスタリカのウミガメ(二)	ヴァネッサとトリスタンは、コスタリカの太平洋岸を訪れる。ここには、大量のカメが一斉に産卵をしにくるという。現地では、この現象をアリバダと呼ぶ。距離的には1マイルにも満たないビーチに、15万匹のカメが産卵に訪れる様子は一見に値する。重要なのはタイミング、いつカメが産卵に来るかだ。カメの卵を収穫する地元の漁師に尋ねたり、潮の流れ、月の様子も参考にアリバダの瞬間をじっと待つ。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレンアデ/ココ島のシュモクザメ(二)	ヴァネッサとトリスタンは、コスタリカの東、太平洋に浮かぶココ島へ向かった。シュモクザメの大群が見られる珍しい場所である。宝島と呼ばれ、美しい熱帯の自然が残るココ島、世界遺産として登録されている。二人は海に潜り、ジンベイザメ、マンタ、海ガメと遊泳する。この旅のクライマックスは、ココ島の最大の特徴シュモクザメの大群。それをカメラに収めるため、海の中でじっと待つトリスタン…。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレンアデ/日本の丹頂鶴(二)	ヴァネッサとバイヤーは、冬の北海道へ。タンチョウの鶴の舞をカメラに収めるためだ。まずは、志賀高原の日本ザルの温泉に立ち寄り汗を流す。北海道では、夜明け前の海で二人が見たのは、朝日に照らされ、氷海を舞うオオウシの姿。旅の最終目的地は丹頂が集まる鶴居村、何十年の間、丹頂に餌を与え続ける老婦人に出会う。丹頂が翼を広げ、優雅に舞う求愛ダンスをフィルムに収めるため、極寒の中、最高の一瞬を待つ。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレンアデ/マダガスカル kitsuneザル(二)	ヴァネッサとトリスタンは、珍動物の宝庫マダガスカルへ。その中でも滅多にお目にかかれないキツネザルの仲間シファカを探しに。シファカは愛らしい見かけによらず、非常にたくましく、険しい森の中10m離れた枝へ飛び移ることができる。用心深いので、その姿をカメラに収めるのは至難の業だった。シファカ探しの途中、キツネザルの群れに遭遇。特殊なカメラを用意し、フレンドリーな彼らの面白い行動をカメラに収めた。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレンアデ/インドの神のサル(二)	ヴァネッサとトリスタンは、インドへ。神の生れ変わり信じられているサル・ハヌマンラングールをカメラに収めるために。インドでは、昔から人間と動物が深い精神的な関係で結ばれている。二人はその不思議な関係の秘密を紐解く。そして、二人は100頭以上のラングールのボスに遭遇。しかし、そのボスは怪我をして力が衰えていた。それに乗じたオス達の王座奪取が…珍しい場面をカメラに収めることに成功するのか。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	地球のセレンアデ/モンレー湾のクワジラ(二)	ヴァネッサとトリスタンは米西海岸モンレー湾へ。クワジラ親子の大移動をカメラに収めるために。モンレー湾自然保護区は、海の生き物の宝庫だ。海岸では昼寝中のアザラシに遭遇。クワジラ親子が天敵シャチから逃れながら海岸線に沿って泳ぐ。2人はボートや飛行機、地上から追う。モンレー湾近海はクワジラ親子の大移動の最大の難関となる。親子の無事の移動を祈りながら、二人はクワジラ親子の移動を撮る。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	地球のセレンアデ/タイの野生のゾウ(二)	ヴァネッサとトリスタンがタイへ。ジャングルの野生ゾウの姿を収めるために。タイでは、ゾウが苦境に立たされているのも実状。2人は町で働くゾウに心を痛める。しかし、ある女性に出会い、アジア象にも希望はあると確信する。彼女は施設でゾウを保護しているのだ。心温まるゾウの家族を目にしたのは、ゾウがいかに愛情深い動物であるかを知るだろう。2人はジャングルの奥地に生息する貴重な野生のゾウをカメラに収める。[二カ国]

中3 生命 生物と環境	★地球のセレナーデ/モンゴルの馬(二)	ヴァネッサとトリスタンはモンゴルを訪れ、遊牧の一家と生活を共にする。今回のミッションは、野生の馬をカメラに収めることだ。馬に囲まれて育ったヴァネッサにとって、馬社会のモンゴルは一度訪れてみたい場所だった。家族の案内でワシの棲む場所へ。崖の頂上にある巢の様子をカメラに収めようとするが…。二人は、馬に乗り、草原を駆け回る男達の姿に感動。現存する唯一の野生の馬・蒙古馬に出会えるのか。[二カ国]
中3 生命 生物と環境	★地球のセレナーデ/バスト・モーメント(二)	ヴァネッサとトリスタンは、自然の最高の瞬間を撮るため、3つの大陸、8カ国を巡った。400時間にも及ぶ映像の中から、ワイルドライフをこよなく愛する二人が選んだ心に残るシーンを一挙公開。最後に、地球のセレナーデの集大成ビデオクリップをご覧ください。ウミガメの産卵、丹頂鶴のダンス、ゾウの親子愛、好奇心旺盛のキツネザル…。思いがけない出会い、息をのむ瞬間、そこに住む人々との出会いを振り返る。[二カ国]
中2 生命 動物の仲間	動物なぜなぜ調査隊1(二)	案内役のニック・ベイカーとハウィー・ワトキンは、南米ベネズエラとガイアナで、世界最大のヘビ、アナコンダをさがす。同じ案内役を務めるミュージカル女優のミカエラは、ガイアナのジャングルで、きわめて原始的な鳥と考えられていた風変わりなツメバケイを追う。さらにブラジルでは、ロナウドと名づけられたバクの赤んぼうにも出会う。そのほか、カワウソや、猛毒を持つ色鮮やかなカエルも登場する。
中2 生命 動物の仲間	動物なぜなぜ調査隊2(二)	世界中の働く動物たちを紹介する。ネパールで荷物運びをするゾウ、スコットランドで泥棒の見張りをするガチョウなどが登場。世界中の働く動物たちを次々紹介していく。ネパールには荷物や人間を運ぶゾウがいるけど、彼らの休日には便乗してリラックス法などのぞいてみる。スコットランドにはウイスキー泥棒を監視するガチョウの集団が、カリブのトバゴ島にはヤギのレーサーがいる。俳優やモデルとして活躍する動物たちも登場するよ。
中2 生命 動物の仲間	動物なぜなぜ調査隊3(二)	世界最高峰の山を誇りとするネパールを訪れ、その豊かな自然に生息する多くの動物やすばらしい景色を紹介。豊かな熱帯雨林に多くの動植物が生活し、伝説の雪男「イエティ」のふるさともあるネパールを訪れる。小型飛行機からはエベレスト山の絶景を撮影。チトワン国立公園ではゾウの背中に乗り、インドサイ、ヒョウ、トラたちに出会う。孤児のサイの赤ちゃん、オオサイチョウ、野牛のヤク、ユキヒョウ、ナマケマなども登場する。
中2 生命 動物の仲間	動物なぜなぜ調査隊4(二)	世界で最も貴重で、最も愛されているトラについて詳しくお伝えする。トラに関する驚きの話や、シベリアトラやベンガルトラにも会う。世界で最も貴重で、最も愛されている動物、トラを紹介しよう。トラは現在、絶滅の危機に瀕していて、人間の保護を必要としているんだ。ロシアでは、密猟者から救われた美しいシベリアトラに会い、インドでは野生のベンガルトラに出会う。トラにまつわる驚きの話なども紹介するよ。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊5(二)	アフリカのカメルーンで、孤児のカバや、フルーツが大好物のストローオオコウモリや、霊長目のポットーとショウガラコに出会う。アフリカのカメルーンに向かい、孤児で助けられたユニークなスーパーバスター、カバの「アフリカ」に出会う。サツマイモが好物で、飼い主を背中に乗せて町を歩く人気者だ。首都のヤウンデでは、果物を求めて夜な夜な驚きの光景を見せるストローオオコウモリを探す。珍しい霊長目のポットーとショウガラコも登場。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊6(二)	スコットランドでネス湖のネッシーの追跡や山に入りヨーロッパヤマメコを探す。ウェールズ地方では鳥の飼育を見学する。美しいスコットランドへ行き、あのネス湖のネッシーの追跡をする。イギリス最大の湖に先史時代の恐竜が今も潜んでいるのか？番組案内役のニックが、14歳のトーマスを連れて山に入る。珍しいヨーロッパヤマメコを探すためだ。ウェールズ地方の農場では鳥の飼育を見学。そこには貴重なアカビもいるよ。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊7(二)	野生馬の調教に人生をかける人や50種以上の鳥の鳴きまねのできる野鳥の専門家など動物にかかわる仕事をする人たちを紹介。まず、カリブ海でシロフニなど大型のサメの研究をしている博士を紹介。800種以上の野鳥の住むネパールには、50種以上の鳥の鳴きまねのできる野鳥の専門家がいる。アメリカ、テキサス州には、映画「モンタナの風に抱かれて」の主人公で伝説のカウボーイが実在。南米ではオリノコニを繁殖させている人に会う。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊8(二)	野生動物の宝庫、カリブ海のトバゴ島を訪れ、マンタやオサガメ、国鳥のショウジョウトキをはじめ多くの野鳥たちに出会う。カーニバルで有名なカリブ海諸島のトリニダード・トバゴは、野生動物の宝庫。そこでは大型のエイ類のマンタも岸のすぐ近くまでやってくる。有名な動物写真家からは写真のコツを教えてください、国鳥のショウジョウトキをはじめ、ミツドリ、ハイロクチャオタカなど野鳥の写真撮影にも挑戦する。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊10(二)	ニックとハウィーがベネズエラを訪れる。涼しげな川には残忍で獐猛な殺し屋の生物があふれている。ミカエラも色々な発見をする。ベネズエラの川は、涼しげで魅力的だ。だが実際には、そこは動物を狙う残忍な殺人者の巣窟である。ミカエラは、グライダーのように大空を飛ぶゲンカンドリや、ワライカモメ、ピストルシュリンプを発見する。これらの生物も、獐猛な殺人者なのだ。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊11(二)	文字通りのワイルド・ウエスト、テキサス州の中心部へと奥深く入っていく。ニックや、ミカエラたちは、どんな動物に出会うのか。ニックとミカエラは、最も有名な大草原の動物、巨大なバッファローに遭遇する。ハウィーは、テキサス州のサファリ旅行へ出発する。
中2 生命 動物の仲間	★動物なぜなぜ調査隊12(二)	カメルーン的首都、ヤウンデにある霊長類救済センターを特集する。創立したのは、もとエコ・ツーリストのクリス・ミッチェルだ。クリスは、彼のすべての時間とエネルギーを、孤児になってしまった子ザルや類人猿たちに捧げている。彼の活動と、霊長類救済センターを紹介する。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ハヌマンラングール(二)	インドにいる尾の長い、ほっそりしたサル「ハヌマンラングール」。ヒンズー教のサルの神「ハヌマン」からつけられた呼び名です。このエピソードでは、生後8ヶ月のハヌマンラングール「ラリー」を紹介します。快活で、常におもしろいことを追い求めるラリーは、インドのジヨドブルに暮らしている。この町の人口は80万人、サルたちは人間の家の屋根を住みかとしています。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ミーアキャット(二)	ミーアキャットのモリスは、両親をはじめ、群れの仲間と一緒に南アフリカのカラハリ砂漠に暮らしている。一つの群れを構成するのは、せいぜい40頭だ。モリスの母親は群れのリーダーで、彼女にしか繁殖する権利はない。モリスの父親は3歳で、オスのトップに君臨している。ミーアキャットの生活で最も重要なルールは、誰であっても互いに助け合うこと。だが、群れのメンバーが皆、平等かという点、そうではないようだ。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:チーター(二)	ケニアのマサイ・マラ動物保護区で暮らすチーターのチクは、体にある斑点をカムフラージュにして草のなかに身を隠す方法を、ようやく学んだところだ。母親がガゼルをしとめるのを、じっと見つめる。チーターは動物のなかでいちばん脚がはやく、時速95キロのスピードがだせる。スレンダーな体、長い脚、そして小さな頭が、それを可能にしている。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:アフリカゾウ(二)	アフリカゾウのエプーは生まれたばかり。彼の一家は、アフリカで最も高い山キリマンジャロを見上げるアンボセリ国立公園に暮らしています。アフリカゾウは、陸上に現存する動物のうちでは最大で、エプーもいつかは大きく成長を遂げるでしょう。エプーの母親は群れのリーダー。父親は、アンボセリ国立公園内で最も大きなゾウです。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ダチョウ(二)	ダチョウのオーリーは、モロッコのエトシャ国立公園に暮らしている。彼は、鶏の卵の24倍もある世界で最も大きな卵から生まれました。アフリカでもこのあたりの地域は、気温が40度を超えることが多く、オーリーの両親は一生懸命卵を抱いた。卵を暖めるためではなく、冷やすために、砂に掘った1つの大きなくぼみを共同の巣として、複数のメスが卵を産みます。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ホッキョクグマ(二)	全身が白いことから「シロクマ」とも呼ばれるホッキョクグマ。パーシーは生後10週間のホッキョクグマだ。彼が生まれたのは1月。北極の長く厳しい冬のさなかに誕生した。巣穴は外と比べると、40度は気温が高い。外はマイナス60度になることもあり、時速160キロの風が吹く。このような極寒の地でも生きていく術を、ホッキョクグマは身につけているのだ。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ライオン(二)	ライオンのレオは生後8週間。東アフリカはケニアにある、マサイ・マラ動物保護区に暮らしている。レオを含む3頭の赤ちゃんライオンの母親は、食欲旺盛。毎日、最低でも5キロの肉を食べなければ、生まれた子どもたちのために十分な量の母乳が出せない。幸い狩りは得意で、時速58キロの速さで走ることができる。狩りは大抵、夜に行われる。ライオンは暗闇でも人間の7倍、ものが良く見えるのだ。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:トナカイ(二)	トナカイのロージーは、カナダのイバビック国立公園に住んでいます。まだ生後4日しか経っていません。ヨーロッパ北部ではトナカイと言うのが普通だが、北米とカナダではカリブーとも呼ばれます。これはネイティブ・アメリカンの呼び名で、「掘る者」という意味。大きくて広がった蹄や角で雪を掘り、その下の草やコケなどを食べるからです。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:グリーンイグアナ(二)	グリーンイグアナのイグビーは、3ヶ月間卵のなかで成長し、やっと孵化したところだ。この瞬間から、危険がいっぱいのジャングルでなんとか生き延びていかねばならない。セビレトカゲやヘビなどから身を守らなくては。無事、木の上にたどりついてから5年後までをカメラが追う。また、タイムマシーンに乗って、イグビーの祖先である恐竜を訪ねる。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:デインゴ(二)	オーストラリアに生息する、野生化した犬の子孫「デインゴ」。デインゴはどのようにオーストラリアという土地にやってきたのだろうか？ ダイナは、生後8ヶ月のデインゴだ。暮らしているのはオーストラリア中央部の奥地。シンブン砂漠のはずれだ。昼間には気温が50度になることもある。一日のほとんどは狩りで終わる。獲物はオオトカゲ、エリマキトカゲ、モモイロインコ、カンガルー、ラクダなどだ。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ワオキツネザル(二)	マダガスカル島の南部および南西部にのみ生息する中型のキツネザル、「ワオキツネザル」。ローラとルーシーは生後8週間のワオキツネザルだ。ワオキツネザルの群れには厳格な優劣順位があり、大抵メスのほうがオスよりも優位にある。15頭からなるローラとルーシーの群れは、マダガスカル南部のベレンティ・プライベート保護区に暮らしている。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:チンパンジー(二)	チャーリーは生後5ヶ月のチンパンジー。タンザニアのゴンベ国立公園に暮らしている。一家4頭からなるチャーリー一家は、全50頭からなるチンパンジー・コミュニティを構成する。チンパンジーは人間以外の霊長類のなかで、最も高い知能を持つと言われている。チャーリーは目下、ヤシの実を割ったりするのに使う道具を作ったり使ったりすることを覚えているところ
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:カピバラ(二)	カピバラは、現生種では最大のげっ歯類だ。体の大きさは羊並み、前歯の形はウサギのようで、驚くと犬のように吠える。体重は最高65キロほどで、走るときの最高スピードは子馬ぐらいた。だが、半水生で足に小さな水かきがついているため泳ぎはうまく、成長すると5分間も水中にもぐることができる。天敵はカイマンだ。このエピソードでは、生後1週間のカピバラ「カーラ」にスポットを当てる。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ビーバー(二)	ダムをきずくことで有名な哺乳類ビーバー。上下の顎のそれぞれ2本の門歯は、背面がよりはやくすり減り、前面のエナメル質は残るため、鋭く尖ったのみ状の歯となる。ビーバーの寿命は約10年。家族全員で共同作業をするのが特徴だ。このエピソードでは、アメリカ合衆国ワイオミング州のティートン山脈で暮らす2歳のビーバー「パート」にスポットを当て
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:グリズリー(二)	グリズリーの「ガス」。まだ小さいが、いずれは巨大な体に成長するだろう。小さな車ほどになるグリズリーもいるのだ。グリズリーのオスは、体重200キロぐらいが普通だ。カヌーぐらいと思えばいいだろう。記録に残る最大のグリズリーは、体重750キロもあったという。こんな巨体なのに、時速50キロの速さで走ったり、泳いだり、木登りをしたりするから驚きだ。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:オオカワウソ(二)	アマゾンに住むオオカワウソは、名前の通り大きな体をしている。鼻の先からしっぽまで2メートル近くあり、カワウソのなかでも最大級だ。20頭ほどの群れを構成し、オオカミのように群れ全員で狩りをするため「川のオオカミ」としても知られる、アマゾンで代表する食肉動物だ。このエピソードでは、生後6ヶ月のオオカワウソ「オスカー」にスポットを当てる。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ナイルワニ(二)	クロコダイルは7千年前、恐竜の時代から地球上に生息していると言われる。全長は約6メートルに達し、寿命は50年を超える。クロコダイルの「カール」は生後まだ1週間。全長わずか24センチだ。たくさんの兄弟姉妹たちと、ザンビアのルアンゴワ川で暮らしている。母親は5週間彼らを守り続ける。幸い爬虫類は、生きていく術のほとんどを、すでに生まれたときから身につけている。

中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:イボイノシシ(二)	2本の牙と、長くて幅広い顔に2つのイボ状の突起物をもつイボイノシシ。ブタ同様、そのルックスは決して良いとはいえない。この番組では、生後2週間のイボイノシシ「ウォレス」にスポットを当てる。彼は兄弟とともに、生まれてからずっと巣穴で過ごしてきたが、とうとう巣穴から出て、危険の多いアフリカのサバンナへ踏み出す時がやってきた。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:コウテイペンギン(二)	コウテイペンギンのピーターは、南極大陸で暮らしている。地球上で最も寒い土地だ。彼は気温がマイナス60度でも平気だ。ピーターの生まれたロス棚氷には、25000羽ものペンギンが住んでいる。だから、とてもうるさい。17種あるペンギンのうち、コウテイペンギンは最も大きな種で、頭高が1メートルを超える。体重は約30キログラム。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:ハイエナ(二)	ハイエナには3種あり、なかでも最もよく知られているのがブチハイエナだ。この番組では、ブチハイエナのハッピーにスポットを当てる。ブチハイエナは成長すると、肩高約85センチ、体重約80キログラムと大型になる。ハッピーとハービーは、東アフリカの草原で生まれた。ハイエナの赤ちゃんは生まれたときから攻撃的で、捕食者としての性質を十分備えている。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:キタゾウアザラシ(二)	アザラシ類のなかでは最大の大きさを誇るキタゾウアザラシ。たれさがるほどの長い鼻が特徴だ。この番組では、キタゾウアザラシのエルビスにスポットを当てる。エルビスは、サンフランシスコの南88キロにあるビーチで生まれた。キタゾウアザラシは繁殖期の冬になると上陸し、ハレムを形成し、交尾・出産をし、子育てをする。この3ヶ月の間、彼らは餌をとらない。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:キリン(二)	生後1ヶ月になるキリンのジョージは、東アフリカのサバンナで暮らしている。まだ赤ちゃんとはいえ、すでに頭頂高は2メートルもある。キリンはゆるやかな結び付きの群れをつくり、時々はなれたり、また一緒になったりするが、子育てに関しては協力しあうのだ。この番組では、ケニアの大草原に暮らすキリン「ジョージ」の群れにスポットを当てる。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:トラ(二)	トラのタラは2歳。もう大人だ。彼女は父親のラマ、母親のシタとともに、インドの国立公園内で暮らしている。ネコ科動物のなかでも大型のトラ。大きなものでは頭胴長3メートル、体重300キログラムをこえるものもいる。ライオンとちがってトラは、チームワークに頼らず1頭で狩りをする。足が速く、時速56キロ以上のスピードが出せる。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:トムソンガゼル(二)	タンザニアに暮らす赤ちゃんガゼルのタミー。生まれたときから周りには危険がいっぱいだ。チーター、ジャッカルの、ヒヒなどが、常に幼いガゼルを狙っている。タミーはまだ逃げ足はそれほど速くないが、身を隠すことは得意だ。視力や聴力も優れている。また、生後数週間は体臭がない。なんとか敵から身を守ることができるだろうか。
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑:オランウータン(二)	オランウータンのオットーは、母親とともにスマトラの熱帯雨林に暮らしている。近くには姉のオクタビアもいる。イチジクがたくさん実を付ける頃には、父親オズワルドの姿もみかける。オスはぶつう1頭で移動しているのだ。オランウータンは、カリマンタン(ボルネオ)とスマトラの熱帯雨林に生息しており、アフリカ以外の土地で見られる唯一の大型類人猿だ。
中2 生命 動物の仲間	★BBCどうぶつ図鑑2:アカカンガルー(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／アカカンガルーの生活は、毎日めまぐるしく変化している。今回は、まだ幼いアカカンガルー「ローガン」にスポットを当てる。とびはねるコツを覚えたり、お腹をすかせた他の動物から逃げる方法を習ったりと、毎日大忙しだ。ところで、カンガルーが一晩中エサを食べているというのは、本当だろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:イルカ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／マダライルカの生活をおととして、イルカの世界をのぞいてみよう。今回紹介するのは、まだ幼い「ドット」だ。家族で群れをつくって暮らしていて、魚を捕まえるときの、みんなのチームワークは抜群だ。でも、近くにホホジロザメやマグロがいたら、どうすればいいだろう。ドットは、まだまだ学ぶことが多い。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ヒョウ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ケニアで暮らすオスのヒョウ「リンボ」にスポットを当てる。リンボは大好きなお母さんから、生きていくために必要なことを1つ1つ教わりながら成長している。毎日の生活の中で出てくる問題を乗り越えながら、リンボは、たった1年で立派な大人のヒョウになるのだ。その成長していく様子を紹介する。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ヌー(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／今回スポットをあてるのは、ヌーの「ウォルター」だ。ヌーは生まれて5分後には自分の脚で歩く。これから、食べ物を探して何千キロも旅をする生活が始まるのだ。旅の途中にはライオンやヒョウなど危険な動物にも出会うだろう。ウォルターは、うまく危険を乗り越えて生きていけるだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:アカギツネ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／アカギツネは、感覚が鋭く、狩りがとても上手な動物だ。獲物にそっと近づいていって襲いかかり、捕まえる。今回スポットを当てる子ギツネ「フレディ」は、その方法をお母さんから教わっている。立派なハンターになるためには、訓練あるのみだ。さあ、フレディが毎日がんばっている様子を見てみよう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ラッコ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／赤ちゃんラッコ「オルガ」の毎日の生活をのぞいてみよう。ラッコは海で暮らしているが、時には、毛皮を乾かしてあげなければならない。オルガは、お母さんに守られながら、毎日いろいろなことを覚えている。ラッコたちが石を使って貝を割る様子や、波に流されないように眠る方法などを紹介する。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:クロサイ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／地上にすむ最大の動物であるクロサイにスポットを当てる。アフリカで暮らすクロサイの「ローリー」。まだ赤ちゃんのローリーは、これからの1年間で学ぶことがたくさんある。泥の中で転げ回ることそのうちの1つだ。成長すると超重量級の重さになるクロサイだが、怖いものはあるのだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:アジアゾウ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／「エディ」は、生まれたばかりのアジアゾウの赤ちゃんだ。エディを群れに迎えたゾウたちは、エディの安全を一番に考えてくれる。深い水場を避け、エサを探して歩き回るときはエディを守ってくれる。しかし、まだ小さいエディを狙う動物が、周りにはたくさんいる。果たしてエディを守りきれるだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:オオカミ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ハイロオオカミの「ウィノナ」は、カナダ北部にすんでいる。まだ幼く、冒険心でいっぱい。大好きな兄弟たちと一緒に、群れのみんなと仲良く暮らしていく方法を学んでいかなければならない。ほかに、広いテリトリーの中で、自分よりもずっと大きな獲物を襲って捕まえる方法を身につけていく。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ニホンザル(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ニホンザルの暮らしを、「モモ」の生活をおととして見ていこう。夏には海に行き、冬になると雪の降る山の中で温泉に入るニホンザル。まだ小さいモモは、四季をおととして新しいことを経験し、学んでいく。ジャガイモを洗ったり、ライオンのまねをしたり、びっくりするようなサルたちの日常をのぞいてみよう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:イノシシ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ヨーロッパの森で暮らすイノシシ「ベルタ」にスポットを当てる。ベルタは大家族の一員として生まれた。泥浴びをしたり、木をひっかけたり、大好きな木の実を探ったりする方法は、すべてお母さんから教わったものだ。物覚えが早く、しっかり者で元気がいいベルタも、いつか母になる日が来るのだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:アリゲーター(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／仲間からかわいがられているアリゲーターの「アリーシャ」。まだ小さいアリーシャは、他の動物からは獲物として狙われる危険もある。しかしアリーシャは、そんなことに負けるほど弱虫ではない。水中では怖いものなしで獲物を捕まえるアリゲーター。実は、日光浴を欠かさないとそうだ。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:アメリカクロクマ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ぬいぐるみのように見えてもクロクマに抱きついていたら危ない。「ベス」は兄弟と一緒に母グマのもとですくすくと育っている。たまに木から下りられなくなるという失敗もするが、ベスの冒険心はまったく衰えない。近くの町に散歩に行くこともあるという。そんなベスが、初めての冬眠の準備を始める。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:オコジョ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／オコジョの赤ちゃん「スティューシー」にスポットを当てる。イギリスの田舎で暮らすスティューシー。たくさん兄弟と、毎日楽しくすごしている。しかし、いつかは大人になって家族とはなれて暮らすことになる。それまでに立派なハンターになるため、スウィーティーは今日もがんばっている。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ザトウクジラ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ザトウクジラの群れは、暖かい海から冷たい海へと回遊している。今回スポットを当てるのは幼い「ハリエツ」だ。ハワイからアラスカまで、なんと3000キロ以上の距離を泳いでいく。その間には、荒れた海を泳がなければならないこともある。地球で一番大きな生き物が成長する様子を見てみよう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:リス(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／リスの「グレッタ」は、毎日忙しく動き回るお母さんリスだ。巣穴から出たら、他の動物に狙われる可能性もある。しかし、お腹をすかせた子どもたちがエサを待っている。果たしてグレッタは、危険を乗り越えるための知恵を持っているのか。そして子どもたちは？ 小さなリスの大冒険を見てみよう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ツノメドリ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ツノメドリの「パーシー」は、家族のために毎日がんばっている。巣を守り、家族の捕まえる方法を習わなければならない。でも今は、何をしても失敗も多い。子どもの成長を楽しみにしているパーシーは、お腹をすかせたカモメやハマブサから、うまく逃げられるだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:オオミギツネ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／オオミギツネは、耳がよく、とてもずばり強い動物だ。今回スポットを当てるのは、冒険好きな子ギツネ「ボニー」だ。ボニーはカラハリ砂漠で暮らしていて、のどが渇いても我慢の日々だ。砂漠には恐ろしい敵が潜んでいる。もし家族とはぐれてしまったら、ボニーは自分の身を守るのだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ヘラジカ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ヘラジカの「マテルダ」は、北アメリカの森で生まれた。時にはオオカミと出会うこともあり、毎日の生活はスリルにあふれている。エサを見つけたら水浴びをしたり、学ぶことも多い。マテルダは、それらのことを簡単に身につけていく。しかし、成長したマテルダには、また別の争いが待っていた。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ミサゴ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／今回スポットを当てるのは、ミサゴの子ども「オリノコ」だ。オリノコは、今住んでいるカナダから、南アメリカのコロンビアまで飛んで行こうとしている。その辺りは冬でも魚がたくさんいるのだ。しかし、移動距離はかなり長い。オリノコの方向を間違えずに、無事に目的地まで飛んでいけるだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ハイラックス(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ハイラックスは、ゾウと同じ祖先を持つと言われている。ハイラックスは、ワシをだましたり、壁のように地面と直角な所を登ったりすることができる。ハイラックスの体には、ちょっとした秘密があるのだ。ハイラックスの「ハリ」にスポットを当て、自分の家を持つまでに成長する様子を見てみよう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:ハイロアザラシ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／風が吹きすさぶ冷たい海で暮らすハイロアザラシの「サリー」。まだ生まれたばかりだが、4週間たったら、みんなと離れて海に出ていかなければならない。だから今は、たくさんを学んでいる。毎日、驚くことばかりだ。さて、サリーは、どれくらいの深さまでぐれるようになるだろうか。(全26話)

中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:リカオン(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／南アフリカの平原に「ウィンストン」という名のリカオンがいる。大家族の一員として生まれたウィンストンは、父親からたくさんのことを教わっている。仲間とうまくやっていく方法、ライオンから逃げる方法、そして狩りのやり方などだ。今はまだ子どもだが、数ヶ月もたてば立派に成長するのだ。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:シマウマ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／シマウマの「ジギー」は、アフリカの広い草原で生まれた。ジギーの父親は、群れを率いるリーダーだ。その父親から、ジギーはサバンナで生きていく方法を教わらなければならない。周りにはライオンやワニなどがたくさんいる。自然界に潜む危険を乗り越え、ハリーは立派なリーダーになれるだろうか。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:サバンナモンキー(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／サバンナモンキーは、南アフリカで暮らす少し変わったサルだ。今回スポットを当てる「ビバ」はまだ赤ちゃんで、群れの中ですくすくと育っている。サバンナモンキーは、なぜホースを怖がるのか？なぜメスたちは、ケンカをしたがるのか？ビバの日常をとおして、サバンナモンキーの秘密にせまっていこう。(全26話)
中2 生命 動物の仲間	BBCどうぶつ図鑑2:シュモクザメ(二)	家族や仲間たちといっしょに大自然の中に暮らす動物たちは、どんな毎日を送っているのだろうか／ハワイの海で暮らす「フラ」は、まだ幼いシュモクザメだ。今はエサを獲るのも一苦労のフラ。1歳を過ぎたらこの海を出て、何千キロも離れた海で自分が生きる場所を見つけなければならない。シュモクザメの子どもの中で、自分が親になるまで成長するのは10匹のうち1匹だけだ。果たしてフラの運命は？(全26話)
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ1(二)	2頭のライオンの子ども、ビルとベンにとって、毎日の生活は闘いの連続だ。獲物を狩る方法などを母親のビビから教わる。だが、2頭のオスから攻撃を受ける。ゾウの子ども、エリは、生まれたときから大きなハンディを背負っている。自分の足で立って、母親であるエコーのおっぱいを飲もうとする。群れが移動するときは、必死でついて行かねばならない。生後数時間で母親から見捨てられたハイロアザランにもスポットを当てる。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ2(二)	子どもライオンのビルとベンは、なんとかオスたちの攻撃から逃れることができた。でも、母親ビビの姿が見つからない。お腹もペコペコだ。そこへ、ようやく父親と残りの家族を見つけた2頭は大喜びだ。ゾウの子ども、エリは、自分の鼻と格闘している。雨が降り、水位が上昇すると、泳ぎの練習に出かける。母親に見捨てられたハイロアザラン、セルキーのその後も追う。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ3(二)	子どもライオンのビルとベンは、何とか父親に気に入られ、群れの一員になれたようだ。だが間もなく、ハチと闘わなくてはならなくなった。これには両親でも手が出せない。ゾウの子ども、エリは、気温の上昇とともに水が干上がると、生き延びるため新たな生活術を身につけていかなければならない。母親と再会したハイロアザラン、セルキーのその後も追う。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ4(二)	子どもライオン、ビルとベンの一家は、バッファローから襲われ、逃げる。2頭は無事だったが、命を落としたメンバーもいるようだ。一方、ゾウの子どもエリには、妹のエボニーが生まれた。元気いっぱい動き回るため、トラブルも引き起こす。ハイロアザランのセルキーは、何とか難局を乗り切ったようだ…。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ5(二)	子どもライオンのビルとベンは、近所に大混乱を引き起こしている。一方、ゾウの子どもエリは、オスどうしの大激突を目の当たりにするなど、たくさんのお話を学んでいく。ハイロアザランのセルキーにとって、とうとう海深くもぐらなければならないときがやって来た。でも、やっとコツをつかんだところで、恐ろしい相手に出会う。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ6(二)	アフリカ大陸南部のカラハリ砂漠では、ミーアキャット一家に新しいメンバーが生まれた。名前はルーニー。まだ生後、数日しか経っておらず、目も開けられない状態だ。地下につくった巣に、ルーニーと3頭の兄弟、そして母親を残し、父親は縄張りマーキングのために出かける。西アフリカのマサイ・マラに暮らす生後3ヶ月のヒョウ、クミとシリヤ、アラスカのカトマイ国立公園に暮らす生後3ヶ月の子熊ヨギたちの様子も紹介する。
中2 生命 動物の仲間	★アニマル・ベイビーズ7(二)	ミーアキャットの群れに新しく加わったルーニーは、初めてエサを食べる練習をする。だが、ワシが縄張りの上を飛び始めた。ルーニーはワシの餌食になってしまうのだろうか？ヒョウの子ども、クミとシリヤは危険な目に出くわす。ヒヒの群れが、こちらに向かってやって来たからだ。ハイログマの子ども、ヨギにも危険が迫る。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ8(二)	ハイログマの子どもヨギは、初めて鮭の味を知る。だが、生まれて初めての冬眠に備え、もつとつとたくさんのお話を食べておかなければならない。そうしてエネルギーを蓄える必要があるのだ。一方、ミーアキャットの子どもルーニーは、初めてサソリと遭遇する。サソリに刺されずに済むだろうか？ヒョウの子どもクミは、ライオンの群れに出くわす。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ9(二)	ヒョウの子どもクミは、野生のガンを追いかけた後、アフリカで最も危険な哺乳類と遭遇する。バッファローだ。絶対絶命か？ハイログマのヨギは、本格的に魚を捕る練習を始める。でも、まだ水の深いところに行くのは怖いようだ。ミーアキャット一家の縄張り、毒ヘビのバファダーが侵入してきた。なんとルーニーは、先頭に立ってバファダーに立ち向かう。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ10(二)	ハイログマの子どもヨギも、独立するときにやってきた。いつも面倒を見てくれた母親グマなしで、生き延びていくことができるのだろうか？バファダーに立ち向かったミーアキャットの子どもルーニーも、何とか生き延びようとしている。彼の命は果たして助かるのか？一方、ヒョウの子どもクミは、まともな狩りができるようになったのだろうか？
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ11(二)	ケニアのマサイ・マラ国立公園で育てているチーターの子ども、ジナ、ココ、ガンバにスポットを当てる。ここには危険がいっぱい。まず出会うのはライオンだ。アフリカ大陸の反対側の草原には、生まれたばかりのシマウマ、ゼブがいる。初めての移動で、ハイエナなどいろいろな敵に直面する。カナダ北部に暮らすオオカミの子ども、コダも紹介しよう。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ12(二)	チーターの子ども、ジナ、ココ、ガンバは、ハンティングの練習をする。だが、何をどう捕まえばいいのか、わからないことばかりだ。シマウマの赤ちゃん、ゼブの大移動は続く。だが、群れがやっと泉にたどりつき、一休みしている間に、ゼブの姿が見えなくなる。一方、オオカミの子どもコダは、巣から出て、初めて外の世界を体験する。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ13(二)	チーターの子ども、ジナ、ココ、ガンバは、もうあまり時間が残されていないことに気がついていないようだ。いつ母親が彼らのもとを離れ、帰らなくなるか分からないのに。毎日、ハンティングの練習はしているが、まだまだ学ぶことは多い。一方、カナダ北部に春がやってきた。コダの両親は食べ物を探しに出かける。後のことはコダの姉に任せて…。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ14(二)	チーターの子ども、ジナ、ココ、ガンバは気づいた。お母さんがもう戻ってこないことに。これからは、今まで学んだことをフルに実践していかなければならない。できるだろうか？シマウマの子どもゼブの成長は目覚ましい。川を渡るときには、ワニに立ち向かう。家族から離れて、オスのシマウマ・グループにも加わる。オオカミの子どもコダのその後も追う。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ15(二)	チーター、シマウマ、オオカミ、それぞれの子どもたちが最大の難関に直面する。チーターの子ども3頭のうち1頭が、ライオンと対峙した後、どうも様子が変わる。大丈夫なのだろうか？シマウマの子どもゼブは立派に成長し、家族のために闘うまでになった。オオカミの子どもコダも、狩りに加わることを許される。だが、相手が巨大なバイソンだと、何が起きるか分からない。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ16(二)	シカの仲間カリブーの子ども、カラは、生まれた瞬間から絶えず動いている。生きるためには、母親に必死でついていかなければならない。でも母親にとって、数千頭もいるカリブーのなかから自分の子どもを見つけるのは、大変ではないのだろうか？一方、ホッキョクグマの子ども、ヒューも、雪と氷の世界に出ていこうとしている。野生の犬の子ども、ニューキーにもスポットを当てる。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ17(二)	ホッキョクグマの子ども、ヒューは、母親からアザランの捕まえ方を教わる。ところで、家族に食べさせるための獲物を、母親はしとめることができるのだろうか？一方、カリブーの子ども、カラは、常に母親のそばを離れないようにしている。野生の犬の子ども、ニューキーも、やっと食事にありつけたようだ。だが、ライオンたちが近くをうろついている。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ18(二)	野生の犬の子ども、ニューキーは、果たしてライオンの攻撃から逃れることができるのだろうか？ニューキーの父親と母親は、大家族をどのように守るのだろうか？ホッキョクグマの子ども、ヒューのもとに夏がやってきた。困ったことに、氷が溶け始めたようだ。一方、カリブーの子ども、カラは、巨大なハイログマから逃げる。群れと一緒に最後まで逃げおおせるのだろうか？
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ19(二)	カリブーの子ども、カラは、大きな川を必死で渡ろうとしている。無事渡りきることができるのだろうか？一方、野生の犬の子ども、ニューキーは、著しく成長を遂げている。もう大人たちと行動をともにしても良い頃だ。獲物をつかまえる方法などを実践で学ばねば。ホッキョクグマの子ども、ヒューは、再び氷が張るのをひたすら待つ。
中2 生命 動物の仲間	アニマル・ベイビーズ20(二)	カリブー、ホッキョクグマ、野生の犬。それぞれの子どもたちは大きく成長し、たくさんのお話を学んできた。野生の犬ニューキーは青年となり、群れの面倒を見るまでになっている。ホッキョクグマのヒューは、まだ母親の近くを離れないものの、もうすぐ冷たい冬の風に一人で立ち向かっていかなければならない。カリブーのカラの大移動も終わりに近づいている。
中2 生命 動物の仲間	★世界のどうぶつえん2-1(二)	絶滅の危機にある動物の赤ちゃんにスポットを当て、貴重な映像をお届けする／ボノボ、アザラン、ワオキツネザル、チーターの赤ちゃんが登場。母親から育児放棄されたボノボの赤ちゃんを、群れに戻すことはできるのか。イギリスの海岸で保護された2頭のアザランは、元気を取り戻したあと野生に戻ることに。双子の赤ちゃんを産んだワオキツネザルや、4匹の子どもを育てるチーターのお母さんを紹介する。(全5話)
中2 生命 動物の仲間	★世界のどうぶつえん2-2(二)	絶滅の危機にある動物の赤ちゃんにスポットを当て、貴重な映像をお届けする／ケープペンギン、シロサイ、レッサーパンダ、クロヒョウが登場。南アフリカでは、ケープペンギンを絶滅の危機から救おうと人々がヒナの救出に乗り出す。密猟者に撃たれたシロサイを救い、世話をする獣医師を紹介。他にも、母親から育児放棄された2匹のレッサーパンダや、深刻な病気になったクロヒョウの子どもを追う。(全5話)
中2 生命 動物の仲間	★世界のどうぶつえん2-3(二)	絶滅の危機にある動物の赤ちゃんにスポットを当て、貴重な映像をお届けする／サバンナモンキー、シベリアトラ、クビワベッカリー、クモザルが登場。親がいないサバンナモンキーの赤ちゃんを、代理母が育てることに。シベリアトラの子どもは、父親からの脅威にさらされる。前脚に障害を持つクビワベッカリーの赤ちゃんは、懸命に歩く練習をする。危険な状態に陥った妊娠中のクモザルに、帝王切開が行われる。(全5話)
中2 生命 動物の仲間	★世界のどうぶつえん2-4(二)	絶滅の危機にある動物の赤ちゃんにスポットを当て、貴重な映像をお届けする／ビューマ、ウオンバット、マーモセット、オオアリクイが登場。初めて出産を経験したビューマの母親は、育児を放棄してしまう。残された子どもたちのゆくえは？オーストラリアでは、交通事故に遭った母親ウオンバットの袋から赤ちゃんが救出される。人工飼育で育つマーモセットの赤ちゃんや、出産を迎えるオオアリクイを紹介する。(全5話)
中2 生命 動物の仲間	★世界のどうぶつえん2-5(二)	絶滅の危機にある動物の赤ちゃんにスポットを当て、貴重な映像をお届けする／アメリカクロクマ、ライオン、シファカ、ユキヒョウが登場。アメリカでは、2頭のアメリカクロクマが保護される。4頭の幼いライオンを襲った原因不明の病。それが何か特定することはできるのか？シファカの赤ちゃんを救うため、保育器を使った世話がされる。イヌと一緒に過ごすのは、ユキヒョウの子どもたちだ。(全5話)
中2 生命 動物の仲間	ブランドンのナイト・サファリ:イカ/サメ(二)	ブランドン・マクミランは、巨大イカ「ハンボルト・スクイッド」と一緒に夜のダイビングを楽しむため、イカ専門家スコット・カッセルの協力を得る。そして、「魔の三角地帯」ともよばれる大西洋西部の三角地帯「バミューダ・トライアングル」へと旅する。【全20話】

中2 生命 動物の仲間	ブランドンのナイト・サファリ:カバライオン(二)	ずんぐりした体のカバは一見、無害な動物に見えるが、夜の生態はどのようなものだろうか？ 驚いたことに、カバは夜になるとかなり攻撃的になるらしい。そして次にケニアへと旅したブランドン・マクミランは、夜、ライオンの群れが狩りをする様子を観察しようとする。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	ブランドンのナイト・サファリ:ヒョウ/渡り鳥(二)	ブランドン・マクミランは、ケニアに広がる草原に夜、行ってみることにする。ヒョウが、自分の殺した獲物を守っている様子を観察するためだ。そして次に向かったのはアフリカ。動物たちの大移動の様子を観察するためでもある。特に、ウィルドビーストとも呼ばれるヌーが、夜間どのように過ごしているのかを見てみたいのだ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	ブランドンのナイト・サファリ:ハイエナ/サイ(二)	ブランドン・マクミランが、ハイエナを探すため、ケニアのサバンナを旅する。ガイドとして付いてくれたケイト・ショーは、ハイエナの巣穴の場所を教えてくれる。続いて絶滅が危惧されているクロサイを探しに、アフリカへやって来た。クロサイは主に、朝や夕方に活動し、昼間は休んでいることが多い。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ナイト・サファリ:クロコダイル(新)(二)	ブランドン・マクミランが、フロリダ州南部にあるエバーグレイズ国立公園へと旅する。今度は、アメリカ大陸最大のワニ「アメリカワニ」を探すためだ。ブランドンは、ワニの専門家と一緒に水上機に乗り込む。そして再び陸に上がり、森のなかを分け入って進み、ワニの巣を探す。やっと見つけた巣には、孵化しつつある卵があった。
中2 生命 動物の仲間	★ナイト・サファリ:アメリカアカオオカミ(新)(二)	ブランドン・マクミランが、ノースカロライナ州のアウターバンクスへと旅する。絶滅の危機に瀕するレッドウルフを探すためだ。野生のレッドウルフが生息しているのは、ここだけだという。野生生物学者のマイケル・モースはブランドンに、レッドウルフを探す間、遠吠えをするよう指示する。すると、レッドウルフの群れがブランドンの遠吠えに応えてきた。
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:コウモリ(二)	ブランドン・マクミランが、ペルーのジャングル奥深くへと旅する。チスイコウモリ(吸血コウモリ)を探すためだ。コウモリ専門家のオロスコが、ガイドとして付けてくれる。コウモリはたくさんいても、チスイコウモリの姿はなかなか見つからない。2人は人里離れた農場へ行ってみる。そこでは、チスイコウモリがよく襲うとされる牛が飼われているからだ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:カイマン(二)	ブランドン・マクミランが、ペルーのジャングルを流れる川へと旅する。クロカイマンを探すためだ。クロカイマンは絶滅の危機にあり、なかなか姿を見ることはできない動物だが、この地域では最も体が大きく攻撃的な捕食者だという。ブランドンとクルーはボートを組み立て、川を下る。そしてついに、ボートからクロカイマンの姿を目撃する。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:ハブ(二)	ブランドン・マクミランが夜、アマゾンのジャングル奥深くへと旅する。世界で最も危険なヘビと言われるヤジリハブ(英語名:フェルド・ランス)を探すためだ。爬虫類学者の協力のもと、ハブに備わっている優れた感覚機能と、彼らの夜の習性が明らかになる。危険を冒しながらヤジリハブ(英語名:フェルド・ランス)を探し続けるブランドン。果たして本物のヤジリハブ(英語名:フェルド・ランス)を発見することができるのだろうか？ 【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:サル(二)	ブランドン・マクミランが、ペルーのジャングル奥深くへと旅する。今度は、夜行性のサル「ナイトモンキー」の生態を詳しく知るためだ。ナイトモンキーの生態に詳しいリカルド・サンチェスに協力してもらおう。リカルドはブランドンを、木の上の足場へと連れて行く。ここからナイトモンキーの行動を観察できるかもしれないからだ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:コヨーテ(二)	ブランドン・マクミランが、アメリカからメキシコにかけて広がるソノラ砂漠へと旅する。コヨーテを探すためだ。まずは、ガイドのジョン・ガンと落ち合う。ジョンに連れられてケープクリークにやって来たブランドンは、様々な砂漠の生き物に出会う。そしてついに、泥に残されたコヨーテの足跡を発見する。この近くにコヨーテがいるかもしれない。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:イカ(二)	ブランドン・マクミランは、巨大イカ「ハンボルト・スクイッド」と一緒に夜のダイビングを楽しむため、イカ専門家スコット・カッセルの協力を得る。ハンボルト・スクイッドは、普段は深い海の底にいるため、ほとんど姿を見ることはできない。ダイビングすれば、ハンボルト・スクイッドに遭遇することができるだろうか？ 最初のダイブで、2人は巨大なハンボルト・スクイッドを目撃するが、ブランドンは息が続かず水面上がる。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:サメ(二)	ブランドン・マクミランが、「魔の三角地帯」ともよばれる大西洋西部の三角地帯「バミューダ・トライアングル」へと旅する。ここには、色々な種類の恐ろしいサメたちが生息しているという。トラとレモン・シャークで有名なタイガー・ビーチに向かう途中、マダライルカとのダイビングも楽しむが、シーワズプと呼ばれる有毒なクラゲにも遭遇する。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:カバ(二)	ずんぐりした体のカバは一見、無害な動物に見えるが、夜の生態はどのようなものだろうか？ 驚いたことに、カバは夜になるとかなり攻撃的になるらしい。ケニアへと旅したブランドン・マクミランは、ケニアにおいてカバは、最も危険な動物のひとつであるということを知り、カバは夜間、いったいどんな行動に出るのだろうか？【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:ライオン(二)	ケニアへと旅したブランドン・マクミランは、夜、ライオンの群れが狩りをする様子を観察しようとする。ライオンの狩りは主に夜、行われる。太陽が沈み出すと動き出すのだ。サーマルカメラが、まずとらえたのはゾウにキリン。そしてついに、獲物にむしゃぶりついているライオンの群れを発見する。ところが、クルーの乗った車輦が泥にはまって動かなくなってしまふ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:ヒョウ(二)	ブランドン・マクミランは、ケニアに広がる草原に夜、行ってみることにする。ヒョウが、自分の殺した獲物を守っている様子を観察するためだ。ブランドンがすぐに見つけたのは、内蔵が取り出されたシマウマの死骸が、木の枝からぶら下がっている様子だ。きっと、木登りの上手なヒョウの仕業だろう。ヒョウはきっと、この近くにいるはずだ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:渡り鳥(二)	ブランドンがアフリカへやって来たのは、動物たちの大移動の様子を観察するためでもある。特に、ウィルドビーストとも呼ばれるヌーが、夜間どのように過ごしているのかを見てみたいのだ。ガイドのモーゼスは、ブランドンをサバンナへ連れ出す。ヌーの群れを探すためだ。すると、ヌーの大群を取り囲んでいるハイエナの群れを発見する。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:ハイエナ(二)	ブランドン・マクミランが、ハイエナを探すため、ケニアのサバンナを旅する。ガイドとして付いてくれたケイト・ショーは、ハイエナの巣穴の場所を教えてくれる。幸運にも、ハイエナがヌーの群れを追いかけようとしているところに遭遇する。ハイエナたちは、ヌーの子どもを群れから引き離し、襲いかかり、倒した獲物の腹を引き裂く。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:サイ(二)	ブランドン・マクミランは、絶滅が危惧されているクロサイを探しに、アフリカへやって来た。クロサイは主に、朝や夕方に活動し、昼間は休んでいることが多い。ガイドとして付いてくれたのは、サイの専門家フェリックス・パッテンだ。サバンナへ出た2人は、シロサイを見つける。クロサイほど珍しいわけではないが、シロサイも絶滅が危惧されている動物である。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:バッファロー(二)	ブランドン・マクミランは、バッファローの群れが身を守る様子を観察するため、ケニアのサバンナを旅する。ガイドに付いてくれたのは、バッファロー専門家のアンドリュー・ナイチンゲールだ。草原を探すと、草をはむバッファローの群れを発見。ブランドンが夜の行動を観察すると、バッファローがうまい具合に捕食者から逃げる様子が見られる。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:キリン(二)	キリンの夜の生態は、ほとんど観察されたことがない。ブランドン・マクミランは、背の高いキリンが夜間、どのように捕食者の手から逃れているのかを観察しようとする。キリンの群れを探すと、2頭のオスがリーダーの地位をめぐる戦っているのに出くわす。近くにいるライオンは、その隙にキリンの子どもを襲おうと機会をうかがっているようだ。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:ゾウ(二)	ブランドン・マクミランが、ゾウの夜の行動を観察しようと、ケニアの草原を旅する。ゾウは社会性のある動物で、小さな群れをつくって捕食者から身を守るが、夜間は特に、たくさんの捕食者たちから子どもを守らねばならない。ブランドンがまず見つけたのは、オスだけの群れだったが、ついに母親と子どもがいる群れを見つける。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	★ブランドンのナイト・サファリ:毒ヘビ(二)	今回ブランドンがやって来たのは、ケニアで活動している爬虫類学者テイラー氏のラボラトリー。彼が研究対象にしているのは、危険な毒ヘビの一種で、夜行性のパファダーだ。パファダーの毒から解毒剤を作る研究を行っている。2人はさっそく、パファダーが生息しているとされる洞窟へ行ってみる。しかし、コウモリやニシキヘビはいるものの、パファダーの姿は見つからない。【全20話】
中2 生命 動物の仲間	ナイト・サファリ:パンサー(二)	ブランドン・マクミランが、フロリダ州南部にあるエバーグレイズ国立公園へと旅する。フロリダピューマを探すためだ。フロリダピューマの姿をとらえることは、なかなか難しい。これまで彼らの夜の生態を記録したフィルムはない。エバーグレイズの専門家ラリー・リチャードソンの協力のもと、ブランドンはフロリダピューマの足跡を探す
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★どうぶつ解体新書:生きるための戦い(二)	このエピソードでは、動物たちの生きるための戦いにスポットを当てる。食う者と食われる者の間では、常にシビアな戦いが繰り広げられている。シカに狙いを定めたトラの頭のなかには、いったいどうなっているのだろうか？ 冬眠中のヘビが再び活動を開始するとき、体内ではどのような変化が起きているのだろうか？ 地球上最大の生物といわれるシロナガスクジラの口の中にも入ってみよう。獲物をどのように食べているのだろうか？ 全3話
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★どうぶつ解体新書:生命の誕生(二)	このエピソードでは、動物たちの求愛から生殖活動、そして新しい生命の誕生までの過程にスポットを当てる。赤ちゃんがどのように子宮内で成長していくか動物別で見よう。ゾウの子宮内部をCGを使って再現し、ゾウの胎児が22ヶ月間、子宮のなかでどのように成長していくのかを見てみよう。大きな耳や長い鼻は、いったいどのように作られるのだろうか？ コウテイペンギンの卵内部の様子も紹介する。全3話
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★どうぶつ解体新書:生命力(二)	このエピソードでは、動物たちの耐久力にスポットを当てる。動物たちは、北極や南極、砂漠、高地、深海など、地球上のあらゆる場所で生き延びている。マッコウクジラは、2000メートルの深さまで息継ぎなしで潜ることができる。もちろん水圧にも耐えられるのだ。一方、寒さに耐えるには冬眠が一つの手段だ。バンクーバー・アイランド・モルモットやアメリカアカガエルなどの冬眠の仕組みに迫る。全3話
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:ぎょろ目メガネザル(二)	インドネシア、カリマンタン、フィリピン諸島に生息するメガネザルは、体がとても小さく、大きなぎょろ目が特徴の霊長類だ。このエピソードでは、インドネシア東部スラウエン島の熱帯雨林に暮らすメガネザルにスポットを当てる。彼らは獲物を捕る能力に優れている一方、求愛の歌をこだまさせるロマンチックな一面も持っているのだ。
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:スナッパー・タートル(二)	ミシシッピ川からレイジアナの河川まで、ニックは水路の旅を続け、重さ90キロ以上もあるカメを探す。ニューオーリンズに着くなりニックは、ここではカメのスープが人気メニューであることに気付く。そのためカメは絶滅の危機に瀕しているらしい。ニックが探している巨大なカメは、とても強い顎を持っているという。ニックはある道具を使って、実際にカメの顎の力を測ってみる。(福吉真知子)
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:傷ついたオオサンショウウオ(二)	今回ニックが旅するのは、北米大陸東部にある大山脈、アパラチア山脈だ。ここで、アメリカ合衆国最大のサンショウウオと言われる「アメリカオオサンショウウオ」を探す。しかし旅を続けるうち、ニックは多くの傷つけられたサンショウウオを目にする。傷口が開いていたり、体が腫れていたり、足や目がなかったり。9割ほどのサンショウウオが、そのような有り様なのだ。
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:かくれんぼカメレオン(二)	体色を変化させることで有名なカメレオンは、驚いた時や、温度・光など環境の変化に反応して体の色を変える。今回ニックは、カメレオンを探してマダガスカルを旅する。カメレオンの舌はとても長く、自分の体長の半分ほど先にいる獲物を舌で捕らえることができる。また、両目を別々に動かすことができるので、一度に色々な方向を見ることもできるのだ。

中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:オオナマズを釣る(二)	ニックの父親スティーブは、ベテランの釣り人だ。今回は親子でタグを組み、この世で最も大きい淡水魚といわれるヨーロッパオオナマズ、通称「ウェルズ」を探す旅に出る。まず2人が向かったのは、イギリスのハートフォードシャー。ここには漁師たちの目撃情報がたくさんあるのだ。さらに、スペインのエbro川にも足をのばす。
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:マダガスカル kitt nezal(二)	マダガスカルには特異な動物相がみられ、その特異性から長い期間、他地域から隔絶されて独自の進化をとげたことがうかがえる。このエピソードでは、マダガスカル島に生息する kitt nezal にスポットを当てる。コウモリのような耳、ネズミのような歯、リスのような尾を持つ kitt nezal は、マダガスカル島など限られた場所にしか生息していない。
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:まねっこタコ(二)	今回ニックは、ミミック・オクトパスを探してインドネシアを旅する。ミミック・オクトパスの得意技は、他人のまねをすることだ。普段は敵に襲われないよう、ミノカサゴ、ウミヘビ、カレイなどに擬態している。形態や動き、色までまねて、いつも色々な動物に擬態して暮らしているのだ。ニックは、まねされた本物の動物と、ミミック・オクトパスの擬態とを比べてみる。
中2 生命 動物の体のつくりと働き	★不思議生物2:童の赤ちゃん(二)	ヨーロッパ南東部、バルカン半島の北西部にあるスロベニア共和国。今回ニックは、プロテウスという伝説上の生き物を探して、スロベニアのカルスト地形を旅する。スロベニアには、プロテウスは童の赤ちゃんだという伝説がある。だが、地下にあるという彼らのねぐらを訪問するのは、ニックにとって恐怖以外のなものでもない。
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その1(二)	奇想天外な面白い動物たちを紹介していく待望のシリーズが、ついに登場！／何とも奇抜な外見をしているペットや、その風変わりな行動を追った爆笑の映像集。ケバケバしく飾り立てた派手なネコや、酔っ払ってしまったイヌの姿に抱腹絶倒！さらに、ヨーグルトを食べる巨大なネズミや、ミニブタも登場する。愉快的動物たちとその飼主主に密着した興味深い映像の数々に、ビックリ仰天！驚きの連続だ。(全6話)
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その2(二)	奇想天外な面白い動物たちを紹介していく待望のシリーズが、ついに登場！／これがペットの家？と思わず言ってしまうような、ビックリ映像が飛び出してくる。今回は、ペットたちの何とも個性的な家を紹介していく。パンで作られたネズミの家から、私たち人間も思わずうらやましくなるような広々とした犬小屋、さらにはアヒル用の豪華なペントハウスまで。お届けするその驚きの映像は一見の価値あり！(全6話)
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その3(二)	奇想天外な面白い動物たちを紹介していく待望のシリーズが、ついに登場！／地球上には非凡な才能を持つペットが存在している。その驚きの能力に思わず感服！スキューバダイビングを楽しむネコ、サッカーをする金魚、ダンスを披露する大型オウム、そして水上スキーをするリスなど。たぐいまれな才能を持ったペットたちが大集合。目を疑ってしまうようなその高い能力に、感心させられること間違いなし！(全6話)
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その4(新)(二)	奇想天外な面白い動物を紹介していく待望の人気シリーズが、ついに登場！／世界最大のアニマルテーマパーク「ブッシュ・ガーデン・アフリカ」の舞台裏に潜入。動物たちの知られざる生態に驚きの連続！空腹のゾウの群れを落ち着かせる方法があるようだ。水中ではカバの赤ちゃんが生まれる瞬間を見届ける。動物たちが排泄した物は、その後どんな運命をたどるのか？そんな面白いテーマからも目が離せない。(全6話)
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その5(二)	奇想天外な面白い動物を紹介していく待望の人気シリーズが、ついに登場！／世界最大のアニマルテーマパーク「ブッシュ・ガーデン・アフリカ」の舞台裏に潜入。動物たちの知られざる生態に驚きの連続！空腹のゾウの群れを落ち着かせる方法があるようだ。水中ではカバの赤ちゃんが生まれる瞬間を見届ける。動物たちが排泄した物は、その後どんな運命をたどるのか？そんな面白いテーマからも目が離せない。(全6話)
社会科 課外活動 総合学習の時間	★世界のビックリ動物大百科 その6(二)	奇想天外な面白い動物たちを紹介していく待望のシリーズが、ついに登場！／実際に行われている動物の大会を大特集。動物に対する今までの常識が覆されるかも？シリーズ最後にお届けするのは、ビックリするほど面白い映像の数々。動物たちが出場している、何とも珍しい大会の様子を紹介していく。アルマジロの競走から、プサイク犬のコンテストまで。まさに奇想天外の動物たちの映像から目が離せない！(全6話)